



信州大学附属図書館医学部図書館 の地域関連病院への新サービスの 取り組み

信州大学附属図書館医学部図書館 石坂憲司

第15回 医学図書館研究会
2008年11月6日 関西医科大学

1. はじめに

- 平成20年6月新サービス開始
 - JDream II のコンソーシアム契約の推進
 - 学外所蔵資料の文献複写サービス
- サービス対象
 - 長野県内の信州大学研修医、研修生派遣病院(40病院)

2. 開始にいたる経緯

17.12	「長野県医学図書ネットワーク」発足
19.4	料金後納制度の開始
19.8	高知大学のJDream II コンソーシアム発表 JSTとのJDream II 契約の折衝
20.1	大分大学の学外所蔵資料の文献複写サービス
20.4-5	JDream II トライアル、県内各地で講習会開催
20.6	新サービス開始

2-1. 長野県医学図書ネットワーク 発足

1) 目 的

病院図書室等の充実と向上に努め、医療情報活動を通じて地域医療の発展に献身

2) 組 織・効 果

県内の図書館担当者、病院図書室担当者、医療関係者

情報交換の場が作られ、県内でのILLも活発化

2-2. 料金後納制度の開始

1) 16年度（法人化後）～18年度

NII相殺、現金前払

2) 19年度～

後納制度（病院側の要望）

⇒支払処理の簡略化、書留料金（420円）、

領収証書不要といったメリット

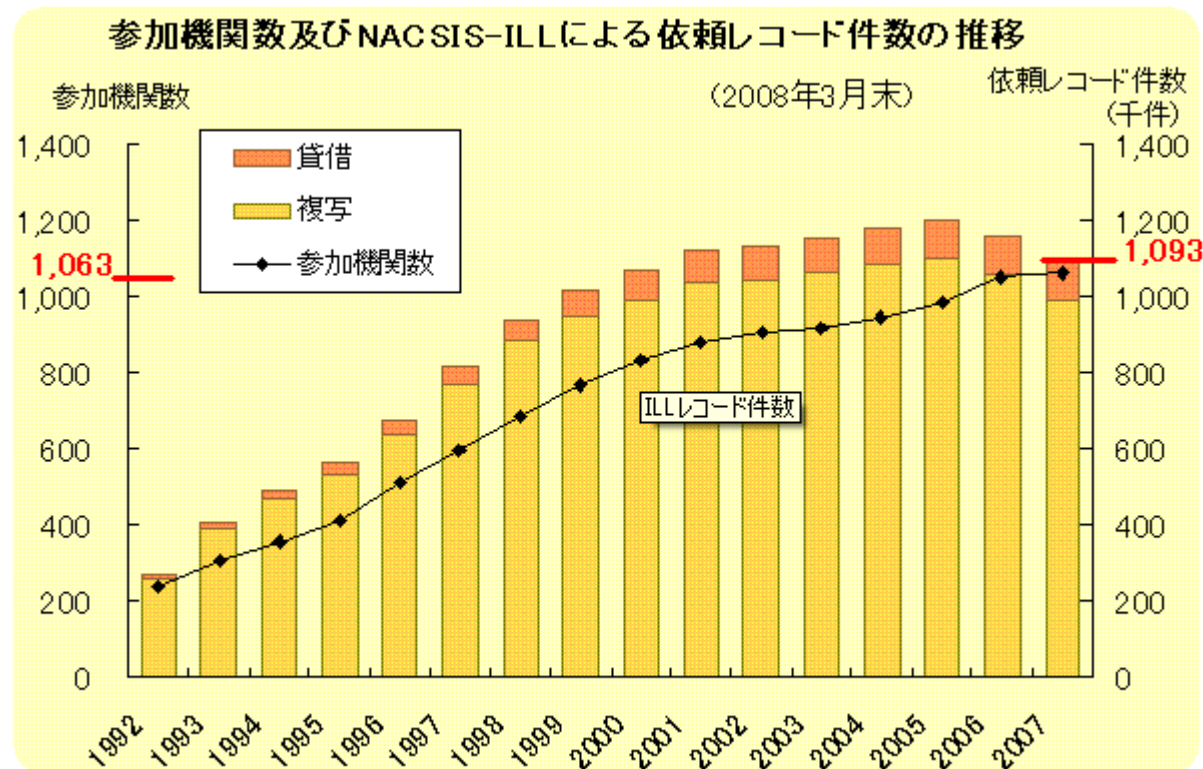
⇒非相殺館からの受付数の増大

2-2. 料金後納制度の開始

	17年度	18年度	19年度	20年度 上半期
現金	170	208	19	30
後払い	-----	-----	555	403
合計	170	208	574	433 * 1000

NACSIS -ILL	4,140	3,699	2,578	1,555 * 3000
----------------	-------	-------	-------	-----------------

2-2. 料金後納制度の開始



出典:『NACSIS-ILL 利用統計』

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/ill/reqnum.html>



2-3. 高知大学発表とJDream II の提案

- 1) 高知大学のコンソーシアム
- 2) JSTによる提案(地域医療支援プログラム)



2-4. 大分大学の文献複写サービス

- 1) 県内の医師を対象
- 2) オンラインによる申し込み
- 3) 大きな反響

2-5. 広報活動

1) トライアル

27病院が参加

2) 利用者講習会

県内各地(長野、松本、上田、伊那)

信大キャンパス

5回、108人参加(内、関連病院12人)



3. 現状と今後の課題

1) JDream II 契約

- 本学としての導入も初めて

2) 文献複写サービス



3-1. JDream II 契約

1) 契約方法(現状)

高知大学:一括契約(親、子)

信州大学:各自独立契約
(一定数確保)

3-1. JDream II 契約

2) コンソーシアム参加病院の拡大（今後）

広報活動の見直し

（担当者、利用者、決定者）

メリットの洗い出し

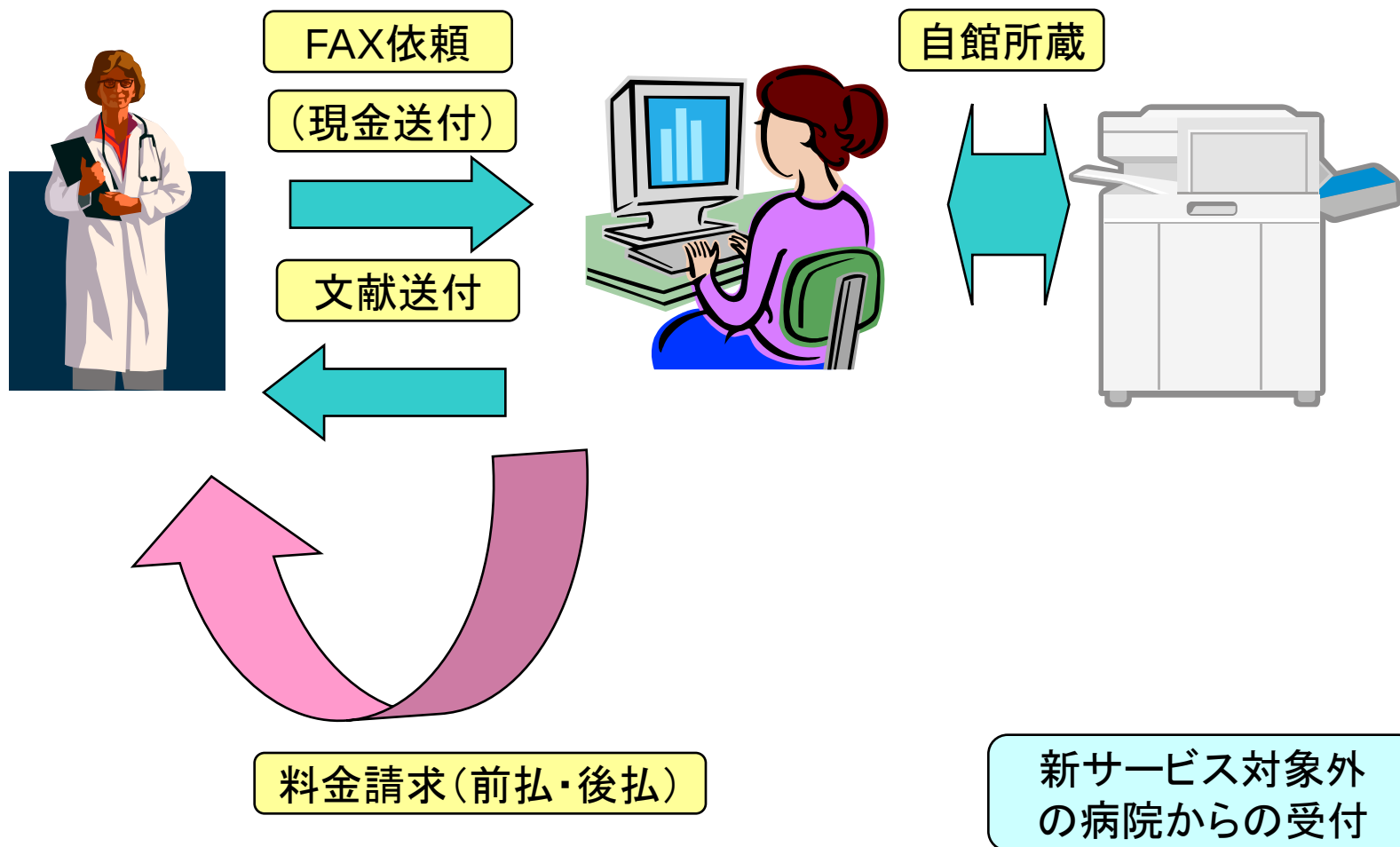
3-2. 文献複写サービス

1) 業務の流れ(現状)

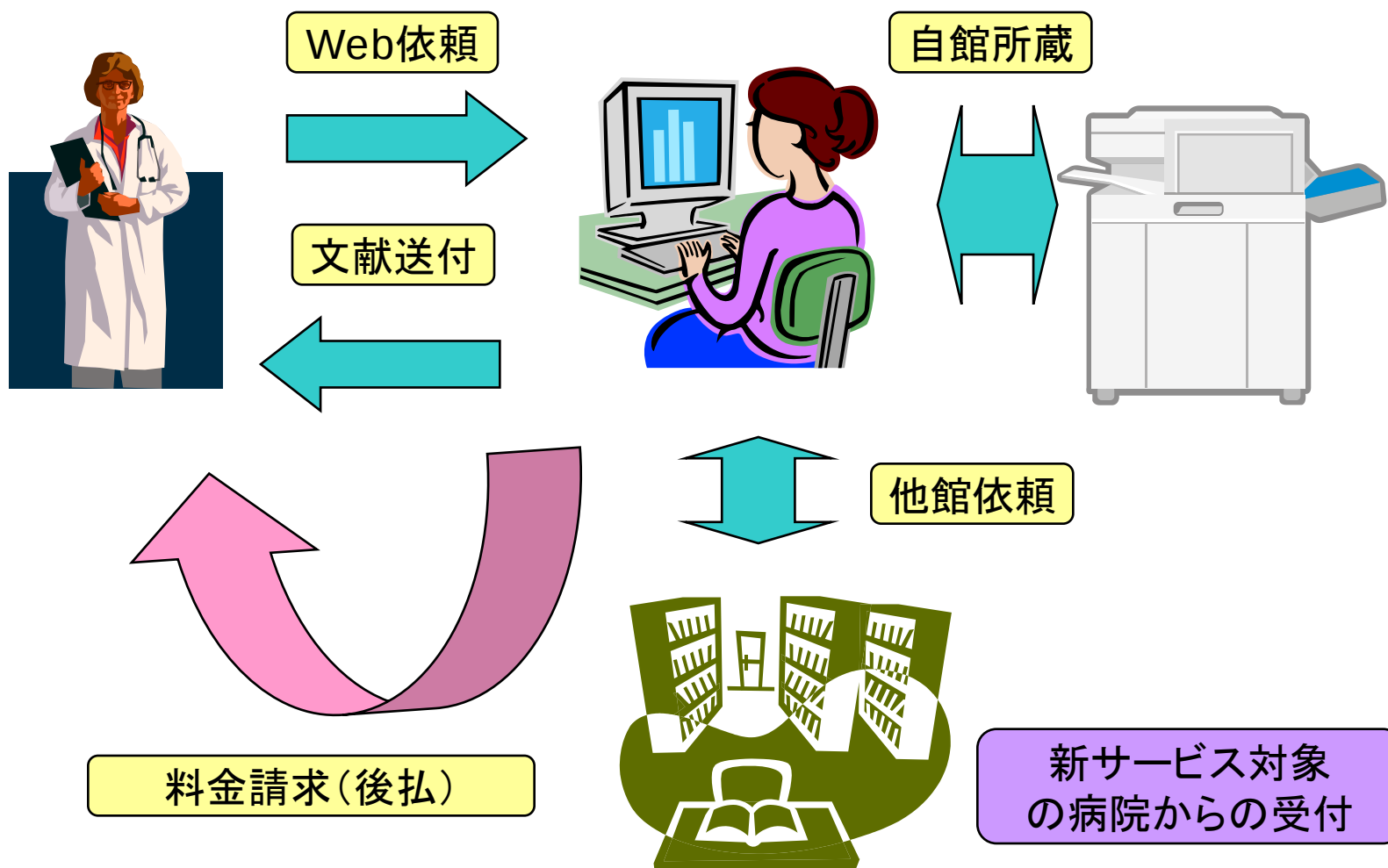
大筋は大分大学と同じだが、試行なしの本番運用。

当面はJDream II 契約館を対象。

3-2. 文献複写サービス



3-2. 文献複写サービス



3-2. 文献複写サービス

①Web方式による申込み

利用申請書の提出

→所属、名前、連絡先、IPアドレス..

図書館システムNALISによる利用者登録

→所属、名前、ID、パスワード..

初期処理

NALISのWeb申込

所蔵の確認(自館、他館)

自館:学内ILL&複写、他館:学外依頼

毎回処理

3-2. 文献複写サービス

②メール便による複写物の送付

A4 : 1cmまで 80円(速達プラス100円)

安価だが、近隣でも翌々日配達

③四半期毎の後払い方式

文献複写料金後納許可の申請

集計・未収伝票等作成→請求書発行

3-2. 文献複写サービス

6病院参加: 20年7～9月集計

自館対応	75件(44%)
他館依頼	95件(56%)
合 計	170件

3-2. 文献複写サービス

2) 業務の増加への対応(今後)

業務の最適化

⇒処理体制の見直し、スタッフ増員

業務量の予測が困難

利用者(病院)の声

⇒文献到着の迅速化・・